



■子どもの行動の例 「ごはんの時間よ食卓へ来て!」と呼んでも来ない

例) 「ごはんの時間」場面 ■うちの子のできているところを探しましょう!

	できる	時々できる	できない
名前を呼ぶと返事をする			
「ごはんよ」と言うとふりかえる		●	
「ごはんよ」と言うと返事をする		●	
「ごはんよ」と言うとやっていることをいったん止める		●	●
「ごはんよ」と言うと食卓に来る			●

↓
ゴール

※子どもができてい行動も、すぐに具体的に認め(ほめ)てみましょう。
そうすることで、ゴールに近づきやすくなります。

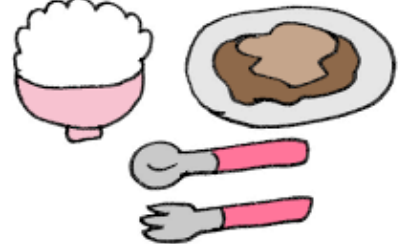
子育てヒント

「伝わりにくい指示」

「えっ?」私に言ってる?僕に言ってる?

子どもが言うことを聞かない時「親の遠くからの指示」が影響している場合があります。
子どもは、わざと聞こえないふりをしてるのでなく、伝わっていないこともあります。
子どもに伝えるときには、距離も大切になります。

- ・ほかの部屋から大きな声で呼んでいませんか?
- ・台所で洗い物をしながら呼んでいませんか?



子どもの近くに行き顔を見て伝えてみましょう。子どもは親が近くに来て
自分の名前を呼んでくれることで親に注目が向き、話を聞く準備が整いやすくなるでしょう。

例の「ごはんの時間」で考えてみましょう。



■前向き子育て技術

はっきり穏やかな指示（子どもが新しい行動をする時）

（子育て手帳 P. 35 を参考に見てみましょう）

いつも子どもに、すぐに従わせようとするのは無理です。何か新しいことをさせたい時、指示を出す前には、できれば今していることを最後までやらせるか、一区切りつくところまでさせます。または子どもが別のことを始める前に指示を出します。



※「あと 10 分で、ごはんの時間よ」新しい行動への予告をしておきます。

（時計が理解できる子どもは時計を指さし伝える。タイムタイマーやキッチンタイマーの利用もおススメ）

□歯みがきの時間、お風呂の時間、寝る準備の時、出かける準備の時などにも使えます。

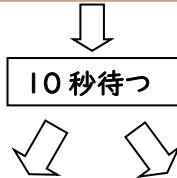
・ごはんの時間に食卓へ呼ぶ時は「ごはんの時間なのであそばない!」と教えるのではなく

「ごはんの時間なので遊びをやめて食卓に行くよ」を教えます。

「あっちゃん、あと 10 分で、ごはんの時間よ」

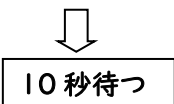
10分後 ↓

「あっちゃん、10 分たったのでごはんの時間です、遊びをやめて食卓へいくよ」



できない時

「あっちゃん、食卓に行くよ」



できた時

ほめる
「あっちゃん、食卓に来られたね」

できた時

ほめる
「あっちゃん、食卓に来られたね」



子どもと言葉を交わすときは手を伸ばした距離で、口調は穏やかに！

●家族の協力が得られるのであれば、食卓に来た子どもをほめてもらいましょう。



今月の定期便についての感想や質問をお聞かせください。



市の「前向き子育て応援事業」の情報はコチラ

■お問い合わせ 子ども未来課 子育て支援係 ☎ 28-7568

（前向き子育て 担当 石橋）

科学研究費助成事業（責任者 福岡県立大学 江上千代美）

無断複写・複製を禁ず